

平成23年行政事業レビューシート

(金融庁)

事業名	国際分担金・拠出金等経費	担当部局庁	総務企画局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成12年度～	担当課室	総務課国際室	三村 淳			
会計区分	一般会計	施策名	I-2-(2) 国際的な金融監督のルール策定等への貢献 I-2-(3) アジア域内の金融・資本市場の整備への協力、及び他のアジア諸国での我が国企業の展開を支え、自らも展開する金融業の支援				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-	関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	<p>○国際的な金融監督のルール策定等へ積極的に参加することにより国際金融システムの安定と発展に資すること。</p> <p>○アジア新興市場国の金融・資本市場の整備を推進し、延いてはアジアにおけるわが国金融機関の事業にも資するため、金融当局の能力向上を図ること。</p>						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<p>○各国際機関等(FATF、IAIS、APG、IOSCO、IFIAR)の事務運営費としての国際分担金。</p> <p>○各国際機関(OECD、IAIS、IOSCO)の新興市場国向け技術支援のための拠出金。</p> <p>○アジア新興市場国の金融行政担当者を対象とした研修事業等の実施。</p>						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	155	145	142	175	162
		補正予算	▲ 4	-	-	-	-
		繰越し等	-	-	-	-	-
		計	151	145	142	175	162
	執行額	144	117	112	-	-	
執行率(%)	94.9	81.0	79.4	-	-		
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	本事業の目的は、国際金融システムの安定と発展に資すること、新興市場国の金融当局の能力向上を図ること及び公認会計士監査を充実・強化していくことであり、定量的な目標を示すことは困難。		成果実績				
			達成度	%			
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	研修事業(各セクター別セミナー)については、アンケートを参考指標として活用し、実績を評価している。これらセミナーは、アジア新興市場国の金融監督当局等に対する技術支援を通じて各国当局の能力向上を図るものであり、右の参考指標が示すとおり、参加者からも高い評価を得ている。同時に、アジア新興市場国との連携強化、延いてはアジアにおけるわが国金融機関の事業にも資するものである。		活動実績 (当初見込み)	各セミナーの参加者を対照に実施したアンケートでは、本セミナーが有益である旨の評価を、大多数の参加者から得ている(下記参照)。			-
				証券(94%) 保険(100%) 銀行(75%)	証券(88%) 保険(85%) 銀行(100%)	証券(100%) 保険(75%) 銀行(震災により中止)	()
単位当たり コスト	- (円/)		算出根拠	-			
平成23-24年度 予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	政府開発援助経済協力開発機構等拠出金	85	87	○政府開発援助経済協力開発機構等拠出金については、OECDにおいて、東南アジア諸国を対象とした消費者保護に関する知的支援活動を新規実施することに伴い、24年度には拠出金を増額する。			
	庁費	39	21	○庁費については、23年度は東京でIOSCO専門委員会・理事会合同会合等を主催する予定であるため庁費が増加したが、24年度にはそのような事情はないことから減額する。			
	証券監督者国際機構等分担金	21	26	○証券監督者国際機構等分担金については、IOSCO総会において、加盟国の分担金算出基準の変更が決議されたことにより、当局の分担金が増額されることとなったため、24年度には増額する。			
	政府開発援助諸謝金	20	18	○政府開発援助諸謝金については、23年度に引き続き、対象国の優先付け等の重点化により減額する。			
	職員旅費	11	11				
計	175	162					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>○分担金・拠出金は、各国際機関等の事務運営費及び技術支援費として一括して支出している。分担金については、各国際機関に加盟する国が義務的に負担する経費である。一方、拠出金は、我が国から各国際機関に派遣されて技術支援を実施する職員の人件費及びその活動経費である(OECD:1名、IAIS:2名、IOSCO:1名)。「2011年新成長戦略」に基づく金融庁アクションプランにおいても、「国際的な金融規制改革への積極的な対応」として、「国際機関等への職員派遣」が掲げられており、当該拠出金はこのような趣旨にも沿ったものである。これらの費用は、金融に関する国際的な基準策定等に積極的に参加して主導的な役割を果たし、我が国のプレゼンスを高め、国際協調に貢献していく上で極めて重要。</p> <p>○アジア新興市場国の金融行政担当者を対象とした研修事業については、各セミナーの参加者に対しアンケートを実施し、「実際に役立っている」「具体的に活用する方向で検討中」と回答した割合が75%~100%に及ぶなど、高い評価を得られたことを確認している。このような技術支援は、アジア新興市場国の当局の能力向上に資するのみならず、我が国にとっても、アジア各国の当局等との連携を強化することに役立っており、さらに、我が国と緊密な関係を有するアジア各国の金融システムの健全な発展を通して、我が国を含む国際金融システムの安定性を向上させるという観点からも有益であると考えられる。なお、22年度では、東日本大震災の影響を踏まえ一部を開催中止した。</p>		
	<p>一部改善</p> <p>○分担金・拠出金については、我が国のプレゼンスを高めるために重要であり、「2011年新成長戦略」に基づく金融庁アクションプランに沿って、国際的な基準策定等に主導的な役割を果たし、国際協調に貢献していくためにも、今後も継続的な実施が必要である。</p> <p>○アジア新興市場国向けセミナーについては、既に23年度予算において重点化(対象国の優先化)を実施しているが、24年度においても、アジア新興市場国の金融行政関係者とのネットワーク構築に引き続き積極的に取り組みつつ、更なる効率化を図れないか検討すべきである。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>○国際分担金については、義務的経費であり、また国際機関の機能強化の流れもあり、増額傾向にある。拠出金については、引き続き職員を派遣する必要があることから、23年度と同様の要求を行う。また、これまで様々なレベルの多様な国際交渉の場に職員を積極的に送り込むほか、重要な国際会議の議長ポストを獲得する等により、我が国の主張の実現を目指してきたところ。今後ともこうした取組みを通じて、上記経費支出による効果の増大を図ることとする。なお、これらの経費の節減が難しいことを踏まえ、同じ国際関連経費である外国旅費の効率的な執行に努めている。</p> <p>○アジア新興市場国向けセミナーについては、22年、23年度と、アジア新興市場国の金融行政関係者とのネットワーク構築に積極的かつ継続的に取り組みつつも、重点化(セミナー数の削減、対象国の優先付け等)を実施することにより、効率化を進めてきたところ。24年度についても、我が国と結び付きの強い国に招待国を重点化することに等により、引き続き更なる効率化を進めることで、要求を減額する。(平成23年度→24年度(1,960万円→1,764万円:▲196万円))。</p>			
補記(過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

金融庁
112百万円

国際分担金・拠出金等
経費

【拠出金】

A. 経済協力開発機構
(OECD)
3先: 84百万円

各国際機関(OECD、IAIS、IO
SCO)の新興市場国向け技
術支援のための拠出金

【分担金】

B. 金融活動作業部会
(FATF)
4先: 22百万円

各国際機関(FATF、IAIS、APG、
IOSCO、IFIAR)の事務運営費と
しての国際分担金

【一般競争・委託】

C. (株)ビジョンブリッジ
3先: 7百万円

新興市場国の金融行政担当者を
対象とした研修事業

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について
 記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

A.経済協力開発機構					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事業費	新興市場国向け技術支援費	43			
計		43	計		0
B.金融活動作業部会					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事務運営費	金融活動作業部会事務運営費	8			
計		8	計		0
C.(有)ビジョンブリッジ					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
旅費	外国人招聘費	2			
業務費	セミナー開催費	1			
人件費	事務局コーディネーター等	1			
計		4	計		0
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0.0

支出先上位10者リスト

A.経済協力開発機構

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	経済協力開発機構	拠出金	43	-	-
2	保険監督者国際機構	拠出金	33	-	-
3	証券監督者国際機構	拠出金	7	-	-
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.金融活動作業部会

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	金融活動作業部会	分担金	8	-	-
2	保険監督者国際機構	分担金	5	-	-
3	アジア・太平洋マネーロンダリング対策グループ	分担金	4	-	-
4	証券監督者国際機構	分担金	4	-	-
5	監査監督機関国際フォーラム	分担金	1	-	-
6					
7					
8					
9					
10					

C(株)ビジョンブリッジ

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(有)ビジョンブリッジ	証券監督者セミナーに係る運営業務	4	7	- (※)
2	(財)国際金融情報センター	保険監督者セミナーに係る運営業務	3	6	- (※)
3	(財)日本国際協力センター	銀行監督者セミナーに係る運営業務	0	5	- (※)
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

※入札時の予定価格が類推できないよう、予定価格及び落札率を公表していない。